

母子健康手帳の電子アプリ化について

1 導入経緯

こども家庭庁では電子母子手帳、電子予診票、マイナポータルとの連携を含む「母子保健 DX」の推進を掲げており、全国的に ICT を活用した子育て支援のデジタル化が進められています。当市においても全国シェア第1位の導入実績(730/1, 718自治体導入)を有し、同一医師会(取手医師会)管轄内市町村(取手市・利根町)でも既に導入済みである電子母子健康手帳アプリ「母子モ」を導入しました。

予防接種や健診の案内、地域の子育て情報の提供などオンライン化を推進し、妊産婦および子育て世代の利便性の向上と保健事業の効率化を図ります。

なお、同アプリは紙の母子健康手帳と併用して使用するものです。

2 導入内容

①名称

MORIYA 電子母子手帳アプリ (母子モ)

②提供方法

スマートフォン用アプリ (iOS・Android 対応)、Web 版も併用可

③利用料

無料 (通信費利用者負担)

④主な機能

【オンライン申請】

- ・妊娠届、妊婦ための支援給付申請、アンケート等の提出

【オンライン予約】

- ・母子健康手帳交付時面談の予約
- ・地域子育て支援センターの子育て講座予約 (R7.12月から開始予定)

【妊娠・子育て情報のプッシュ配信】

- ・子育て情報の配信 (地域の子育て支援情報の配信含む)

【個人で活用する基本機能】

- ・妊娠、出産、育児に関する記録 (体重、健診結果、予防接種など)
- ・通知機能 (予防接種日スケジュールリング&リマインダーなど)
- ・多言語対応 (日、英、中、韓他)
- ・家族共有機能 (父親、祖父母なども閲覧可能)

3 契約事業者

(株)エムティーアイ 東京都新宿区西新宿

4 導入時期

令和7年7月1日から